

<p>第24回 (2013.10.15,21,28)</p>	<p>分類の一般概念と分類理論</p> <p>黒橋慎夫教授 (情報学研究科)</p>
<p><b>【第2回講義】</b> 2013/10/15 吉田南総合館共東 31 出席者 40名</p> <p>配布資料：講義資料 (パワーポイントスライド)  導入：自然言語処理 (言葉とコンピュータ)  情報の分類と組織化：「分類は知のはじまり」物事を体系化することで全体を把握  LATCH (5つの整理棚：Location, Alphabet, Time, Category, Hierarchy)  分類の演習：各自で14個の単語を分類してみる→ (解答) 階層構造を持つ  「分類は、視点・観点によって異なる」  分類の諸問題：ウィトゲンシュタインの家族的類似性  言葉、文化との関係  オーバーゾーニング  動植物の分類：アリストテレス/人為分類, リンネ階層的カテゴリ, アダンソン  /類型分類, ラマルク/系統分類  数量分類学：特徴ベクトル (属性の束) で個体を表現→類似度をもとにクラスター分析  図書の分類：図書館の歴史の変遷とともに体系的な分類が行われるようになった。  書架分類・書誌分類。  十進分類法 (デューイ、国際、日本)、コロン分類法 (主題+ファセット)  ことばの分類：シソーラス (語の上位下位、同義関係などを体系的に整理)  情報検索：テキストの特徴ベクトル表現→類似度計算により文書検索  検索エンジンクローラーが収集した文書を全文検索。  精度向上のため PageRank やアンカーテキストを利用。  情報推薦：特徴ベクトル・行列→ユーザ間の類似度計算  フォークソノミー：共同作業による分類。ウェブ上の情報へのタグ付け。  ソーシャルブックマーク、写真・動画共有サイト</p> <p>* 講義のはじめに黒橋先生より分類担当補助者の紹介があり、それぞれ自己紹介を行った。</p> <p><b>【第3回 演習1】</b> 2013/10/21 学術情報メディアセンター203 出席者 39名</p> <p>配布資料：演習課題A・B・C説明資料 (パワーポイントスライド)、  はてなブックマークの登録方法、図書館マップ  演習ページへの掲載：演習課題、答案の雛形  時間配分： ~10:35 図書館機構 Web サイトの演習問題ページへ接続  10:35~10:55 分類と演習課題A・B・Cの説明  10:55~11:40 課題A・B解答時間  11:40~11:55 班分け・訪問館調整  11:55~12:00 はてなアカウント取得説明</p> <p>演習課題：</p>	

## 課題 A

A-1. 次の(1)～(7)の図書の分類番号として適切なものを、考えられる限りすべて答えてください。分類番号は日本十進分類法 (NDC) の 3 桁の番号で答えてください。

Books.or.jp (<http://www.books.or.jp/>) からリンクされている各出版社のページで目次や簡単な内容を確認できますので、参考にしてください。

- (1) ベルトラン・ランソン『古代末期 ローマ世界の変容』
- (2) 金子啓明『仏像のかたちと心 白鳳から天平へ』
- (3) 伊藤元己『植物の系統と進化』
- (4) 宮脇昭『森の力 植物生態学者の理論と実践』
- (5) 渡辺信久 岸本直之 石垣智基編著『図説わかる環境工学』
- (6) 魚住孝至『芭蕉最後の一句 生命の流れに還る』
- (7) 小宮山宏『サステイナビリティ学への挑戦』

A-2. A-1 で答えた分類番号をそれぞれ最も適したもの 1 つに絞り、それを選んだ理由を述べてください。

A-3. (1)～(7)の図書を KULINE で検索して、書誌詳細に記載されている分類 (NDC9) を確認し、A-2 で答えたそれぞれの分類番号と比較して相違点等を述べてください。また、実際に分類を試みて気づいたことをふまえ、NDC の分類の特徴について考察してください。

## 課題 B

B-1. あなたは講義の予習のために図書館で図書を探そうとしています。次の講義リストの中から 1 つ選び、その講義の予習に役立つと思われる図書があるとされる分類番号を考えられる限りすべて答えてください。分類番号は NDC の 3 桁の番号で答えてください。

講義内容については、京大 Open Course Ware (<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja>) に掲載されている内容を参考にすること。

- (1) 経営学入門

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/syllabuses/104/10/6060000>

ホーム>[シラバス集](#)>[経済学部](#)>[入門科目](#)>経営学入門

- (2) 教育方法論

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/syllabuses/102/5/1001000>

ホーム>[シラバス集](#)>[教育学部](#)>[現代教育基礎学系](#)>教育方法論

- (3) 物性・デバイス基礎論

<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/syllabus-s/?mode=subject&lang=ja&year=2013&b=5&c=60150>

ホーム>[シラバス集](#)>[工学部](#)>[\[D\] 電気電子工学科](#)>物性・デバイス基礎論

- (4) 資源生物科学基礎

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/syllabuses/111/6/5102000>

ホーム>[シラバス集](#)>[農学部](#)>[資源生物科学科](#)>資源生物科学基礎

B-2. B-1 で答えた分類番号を用いて KULINE で分類検索を行い、タイトルに講義名のなかにある単語 ( (1) 「経営」、(2) 「教育方法」、(3) 「物性」および「デバイス」、(4) 「資源生物」) を含まないが、予習に有用そうな図書を 2 冊答えてください。必要に応じて、分類検索に加えて、件名による絞り込み検索を使って、目的の図書を絞り込んでください。図書の内容は、KULINE の詳細画面に表示される目次・あらすじを参考にしてください。

## 課題 C

C. 表は、課題 B の講義リストの教科書または参考書のうち 1 冊と、それらを所蔵している図書館・室を記載したものです。B-1 で選択した講義の教科書または参考書について表で確認し、所蔵している図書館・室へ実際に図書を確認しに行ってください。自分の所属する学部・学科の図書館が所蔵館の中に含まれている場合は、所属する学部・学科の図書館を優先的に選んで訪問してください。貸出中の場合も同じ分類の棚に行きましょう。訪問先の図書館員に訪ねていただいても結構です。

### 【表】

講義	教科書または参考書	所蔵館
(1) 経営学入門	ゼミナール経営学入門 第3版 /伊丹敬之,加護野忠男著 (2003 年出版)	附図、経済
(2) 教育方法論	よくわかる授業論/田中耕冶編 (2007年出版)	附図、人環総人、教育
(3) 物性・デバイス基礎 論	物性工学の基礎/田中哲郎著 (1968年出版)	附図、人環総人、情報学、工吉物 理、工吉電気、工吉建築
(4) 資源生物科学基礎	Essential 細胞生物学/Bruce Alberts [ほか] 著;中村桂子,松原 謙一監訳 (2005年出版)	附図、人環総人、理中央、理生 物、農、医、医人健、工吉化学

C-1. その図書の近辺で、タイトルに講義名のなかにある以下の単語（(1)「経営」、(2)「教育方法」、(3)「物性」および「デバイス」、(4)「資源生物」）を含まないが参考になりそうな図書を 2 冊選び、タイトル、著者、請求記号を答えてください。

C-2. 訪問した図書館の分類方法の特徴として気づいたことや、感じたことを書いてください。10 月 28 日の演習時間内に、訪問した図書館の分類方法について話し合ってもらいます。自分の回答内容が分からなくなるという方は、課題 C の回答を手元に用意しておいてください。

### \*班分け・訪問館調整について

課題 B-1 で選択した授業ごとに受講生を 4 つのグループに分け、課題 C で訪問するそれぞれの図書館・室を決めた。各グループには補助者を 2 人ずつ配置し、グループ内で訪問館が偏らないよう、人数と受講者の所属や訪問希望館を見て補助者がその場で調整した。訪問館調整の時に図書館マップを配布した。

選択講義、訪問館の内訳は次の通りであった。

#### 〈選択講義〉

- (1) 経営学入門 12 名
- (2) 教育方法論 17 名
- (3) 物性・デバイス基礎論 3 名
- (4) 資源生物科学基礎 6 名

#### 〈訪問館〉

- ・附属図書館：13 名

- ・人環・総人図書館：12名
- ・経済学部図書室：7名
- ・情報学研究科図書室：2名
- ・教育学部図書室：2名
- ・工業化学科図書室（吉田）：2名

\*出席者は39名だが、1名は受講のみ希望で単位は不要とのことでカウントされていない。

**【第4回 演習2】** 2013/10/28 学術情報メディアセンター203 出席者 31名

配布資料：課題D説明資料（パワーポイントスライド）、  
課題E説明資料（パワーポイントスライド）

演習ページへの掲載：演習課題、答案の雛形

時間配分       ～10：35 図書館機構 Web サイトの演習問題ページへ接続  
                   10：35～10：55 フォークソノミーの紹介と演習課題Dの説明  
                   10：55～11：25 課題D解答時間  
                   11：25～11：30 課題Eとグループワーク説明  
                   11：30～11：55 グループワーク、解説  
                   11：55～12：00 アンケート等説明

演習課題：

**課題D**

D-1. 京都大学ホームページのニュースインデックス（研究成果）の2013年9月掲載分から自分の興味のあるページを自由に3つ選び、はてなブックマークに登録してください。その際、必ず複数のタグとコメントを付けてください。後で見返したときに自分がわかりやすいように工夫してみてください。

◇ニュースインデックス（研究成果）2013年9月掲載分

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja?type=monthly&c2=4#month9>

D-2 D-1でブックマークしたページに他のユーザが付けたタグやコメントを確認し、自分の考えたタグや工夫した点との相違点について考察してください。選択しているのが自分だけだった場合は、タグやコメントの工夫した点を教えてください。

D-3.

D-1でブックマークした記事の中から1つ選び、はてなブックマークの機能を使って記事内容の詳細や関連情報を調べましょう。自分が付けたタグと同じものが付けられているページを探して、その中から記事の内容に関連したページや興味のあるページを3つ選び、ブックマークしてください。

**課題E**

訪問した図書館についてグループ内で以下の設問を念頭において話し合ってください。

E-1. 課題Cでグループメンバーが訪問した図書館を明記し、グループ内の訪問館が2館以上の場合は (a) について、グループ全員が同じ図書館を訪問していた場合は (b) について話し合い、設問に教えてください。

(a) グループメンバーの訪問した図書館を比較し、分類方法や配架方法、請求記号などについて、相違点や気づいたことを述べてください。また、図書館の分類方法によって便利あるいは不便だと思った点があれば述べてください。

(b) 訪問した図書館の分類方法や配架方法、請求記号などについて、グループ内で話し合い、気づいたことを述べてください。また、訪問した図書館の分類方法について、便利あるいは不便だと思った点があれば述べてください。

E2. 演習1で行った日本十進分類法（NDC）を用いた分類や、図書館でのブラウジングによる資料探索と、演習2で行ったフォークソノミーとを比較し、既存の型どおりに分類する方法と、はてなブックマークのように個人が自由に分類する方法について、それぞれメリット・デメリットをグループ内で考察し、感想も交えて簡潔にまとめてください。

#### **\*グループワーク**

京都大学の各図書館の分類方法を比較し、その違いを知ってもらうことを目的にグループワークを行った。

同じ列に座っている者同士で2～3名でグループをつくるように指示し、グループ内で話し合いを行った。グループ内では、はじめに自己紹介（名前・学部・学年）をして、訪問した図書館・室について発表しあい、課題Eについて意見交換を行うという形で進めた。基本的には、受講生同士での自主的な話し合いを中心とした。補助者は巡回し、適宜、グループワークが円滑に進められるように、補助や各図書館の分類方法の補足説明等を行った。

（文責：福島）